

# 三菱UFJ 米国配当成長株ファンド 〈為替アクティブヘッジ〉

愛称：ザ・レジェンド

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2018年11月27日～2019年5月24日

第 11 期 決算日：2019年5月24日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、主要投資対象である米国配当成長株マザーファンド受益証券への投資を通じて、株式については、S & P 500 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。加えて、為替変動や市場全体のリスクの高まり、金利変動などを定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率の調整を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

第11期末（2019年5月24日）	
基準価額	12,428円
純資産総額	3,431百万円
騰落率	+ 4.2%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	300円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

（\*）当期間の合計分配金額です。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

（受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第11期：2018年11月27日～2019年5月24日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第11期首	12,217円
第11期末	12,428円
既払分配金	300円
騰落率	4.2%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

保有銘柄が上昇したことに加え、為替アクティブヘッジ戦略について、円高・米ドル安局面で為替ヘッジをしていたことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

為替ヘッジコスト等が基準価額の下落要因となりました。

※参考指数は、S & P 500 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年11月27日～2019年5月24日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	109	0.872	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(53)	(0.423)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(53)	(0.423)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(3)	(0.026)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(0)	(0.001)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(0)	(0.001)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.016	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	111	0.890	

期中の平均基準価額は、12,484円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

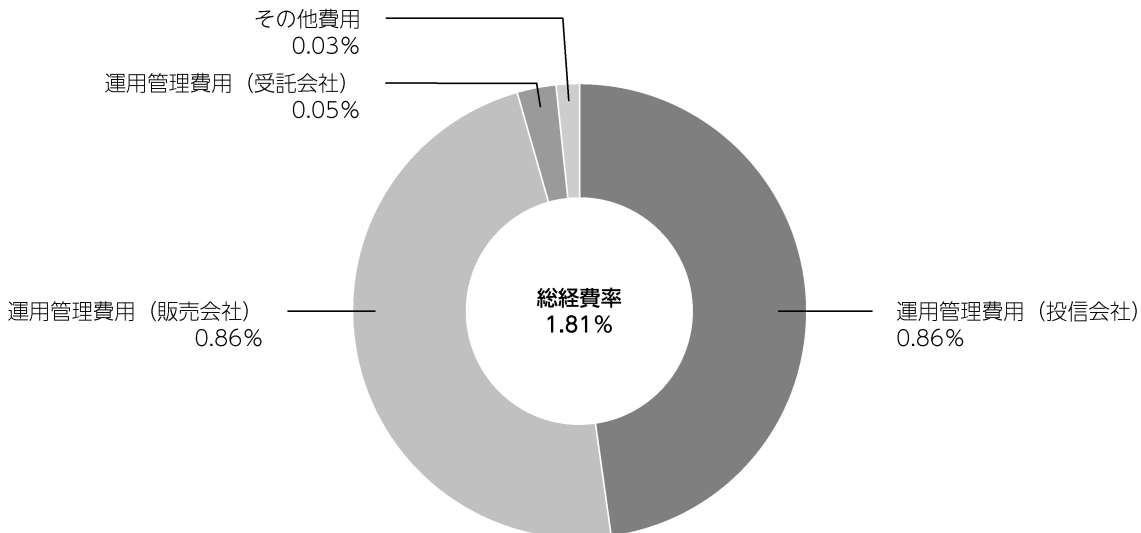
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****■ 総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.81%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

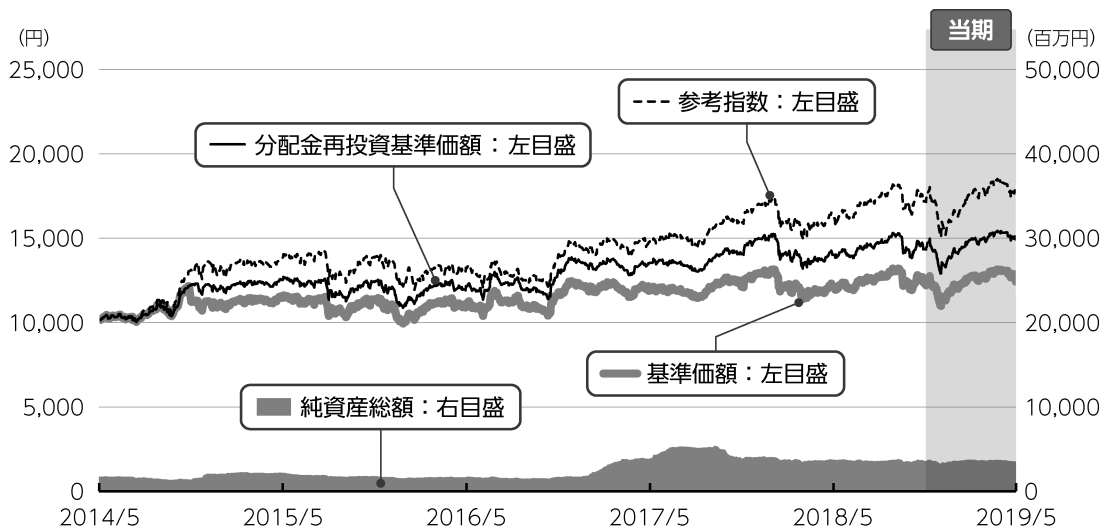
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年5月26日～2019年5月24日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2014年5月26日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2014/5/26 期初	2015/5/25 決算日	2016/5/24 決算日	2017/5/24 決算日	2018/5/24 決算日	2019/5/24 決算日
基準価額 (円)	10,144	11,456	10,899	11,889	12,099	12,428
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,050	0	450	250	450
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	23.5	-4.9	13.3	3.9	6.5
参考指数騰落率 (%)	—	36.5	-6.2	13.7	9.9	8.1
純資産総額 (百万円)	1,701	2,180	1,631	3,791	3,728	3,431

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、S & P 500 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第11期：2018年11月27日～2019年5月24日

## 投資環境について

### ▶ 米国株式市況

期首から2018年12月下旬までは、米中関係悪化に対する懸念が高まったことに加え、世界経済の減速などが嫌気されて下落しました。その後は、米金融当局が追加利上げに慎重な姿勢を見せたことや、米中通商交渉の進展に対する期待などから上昇しました。

### ▶ 為替市況

為替市況は、期首と比べて2.9%円高・米ドル安となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ 米国配当成長株ファンド<為替アクティブヘッジ>

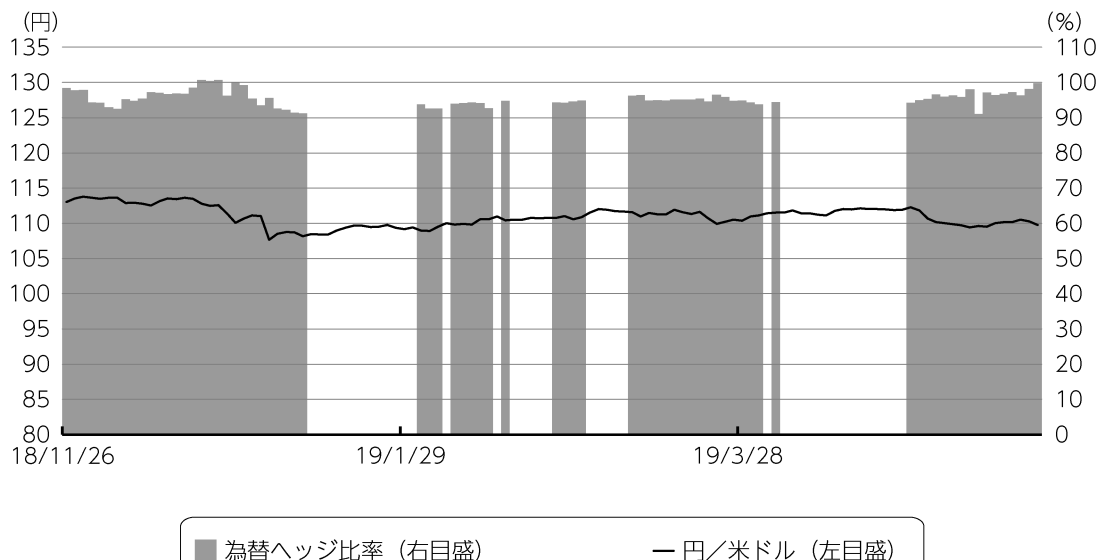
主要投資対象である米国配当成長株マザーファンド受益証券への投資を通じて、株式については、S & P 500 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行うとともに、為替変動や市場全体のリスクの高まり、金利変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率の調整を行いました。

為替ヘッジコスト等はマイナス要因となりましたが、為替アクティブヘッジ戦略については、円高・米ドル安局面で為替ヘッジをしていたことがプラスに寄与しました。

なお、為替ヘッジによる要因を除いた詳細な基準価額の変動要因については、当ファンドの主要投資対象であるマザーファンドの項で説明します。

(ご参考)

#### ■ 為替レートおよび為替ヘッジ比率の推移



(注) 為替ヘッジ比率は、実質的にファンドが保有する米ドル建て資産（按分後）に対する米ドル売建比率を簡便的に算出したものです。



## ▶ 米国配当成長株マザーファンド

基準価額は期首に比べ2.5%の上昇となりました。

S & P 5 0 0 配当貴族指数に採用されている株式（不動産投資信託証券（REIT）を含む）を主要投資対象とし、ベンチマーク（S & P 5 0 0 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざして、運用を行いました。

### 【ベンチマークとの比較】

ベンチマークは2.3%の上昇となったため、カイ離は0.2%程度となりました。

### 組入比率要因

期中、ファンドの資産をほぼ全額S & P 5 0 0 配当貴族指数構成銘柄へ投資しました。

効率的に運用を行うため、円貨、外貨現金などを若干保有しました。

### 銘柄選択要因

ファンドとベンチマークの値動きや、推定トラッキングエラーなどについてモニターし、独自開発システムを活用してベンチマークとの連動性を高めるよう努めました。

保有銘柄については、決算が市場予想を上回ったことなどが好感された「ROPER TECHNOLOGIES INC」（工業用機器メーカー）などが上昇しました。

### その他の要因

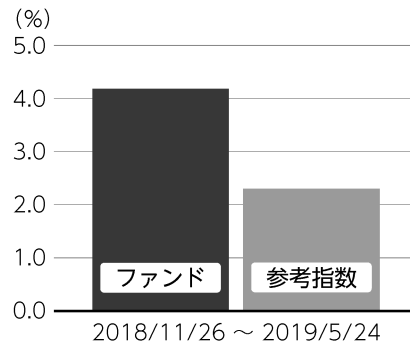
売買コスト、保管料等がファンドのパフォーマンスにマイナスに影響しました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はS & P 500 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第11期 2018年11月27日～2019年5月24日
当期分配金（対基準価額比率）	300 (2.357%)
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,427

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ 三菱UFJ 米国配当成長株ファンド<為替アクティブヘッジ>

米国配当成長株マザーファンド受益証券への投資を通じて、株式については、S & P 500 配当貴族指数構成銘柄への投資を行い、同指数の値動きに連動する投資成果をめざす方針です。また、実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、金利変動などを定量的に捉えて、為替ヘッジ比率の調整を行い、為替変動による影響の緩和や為替差益の獲得をめざす方針です。

### ▶ 米国配当成長株マザーファンド

S & P 500 配当貴族指数構成銘柄について指数構成比率に応じて投資を行い、同指数の値動きに連動する投資成果をめざす方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

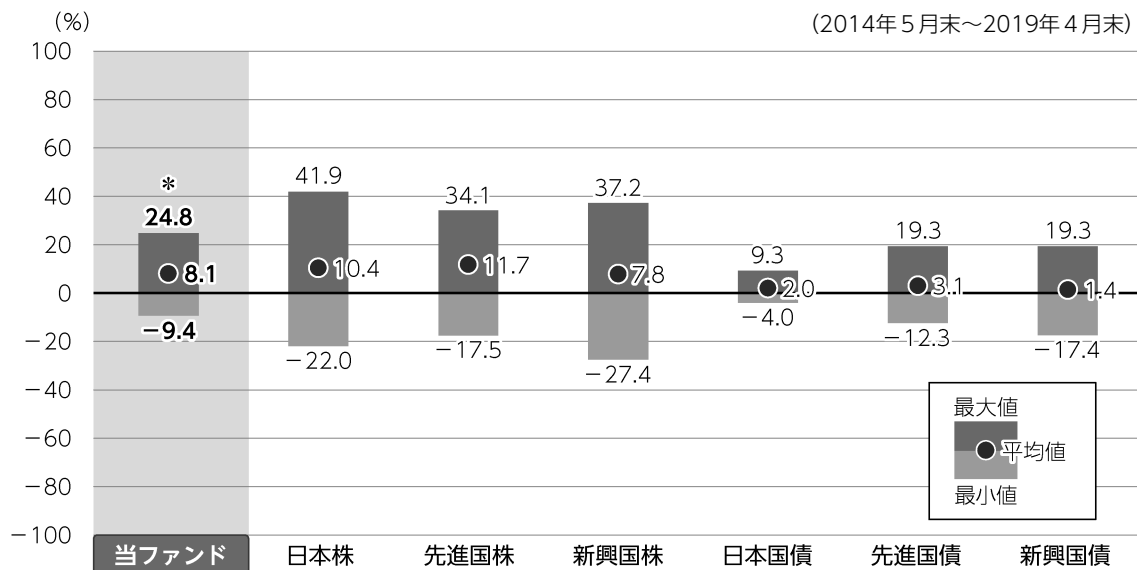
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2023年11月24日まで（2013年12月9日設定）
運用方針	<p>米国配当成長株マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の株式に実質的な投資を行い、S &amp; P 500 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。マザーファンドにおける対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。この調整により為替変動による影響の緩和や為替差益の獲得をめざします。また、外国為替予約取引等の運用にあたっては、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。マザーファンドにおける株式等の運用にあたっては、UBS アセット・マネジメント（UK）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド 米国配当成長株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、米国の株式等に直接投資することがあります。</p> <p>■米国配当成長株マザーファンド 米国の株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	米国の株式を実質的な主要投資対象とし、S & P 500 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）の値動きに連動する投資成果をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年5月から2019年4月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\*ファンドについては2014年12月～2019年4月の同様の騰落率を表示したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2019年5月24日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第11期末 2019年5月24日
米国配当成長株マザーファンド	97.1%

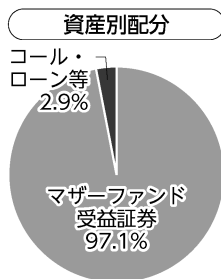
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

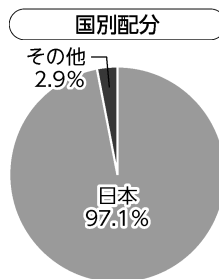
項目	第11期末 2019年5月24日
純資産総額 (円)	3,431,678,358
受益権口数 (口)	2,761,282,569
1万口当たり基準価額 (円)	12,428

※当期中において追加設定元本は170,816,144円  
同解約元本は 319,201,236円です。

### 種別構成等

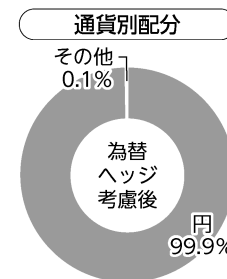


※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】は、組入ファンドの発行国を表示しています。



290897

2019年5月24日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ 米国配当成長株マザーファンド

## 基準価額の推移

2018年11月26日～2019年5月24日



## 1万口当たりの費用明細

2018年11月27日～2019年5月24日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	0	0.002
(株 式)	(0)	(0.002)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(b)有価証券取引税	0	0.001
(株 式)	(0)	(0.001)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c)その他費用	3	0.014
(保管費用)	(3)	(0.014)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	3	0.017

期中の平均基準価額は、17,902円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：58銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)	連続増配年数
1	CINCINNATI FINANCIAL CORP	株式	アメリカ	保険	2.1	36年
2	MEDTRONIC PLC	株式	アイルランド	ヘルスケア機器・サービス	1.9	41年
3	CHUBB LTD	株式	スイス	保険	1.9	25年
4	SYSCO CORP	株式	アメリカ	食品・生活必需品小売り	1.9	38年
5	AFLAC INC	株式	アメリカ	保険	1.9	36年
6	CINTAS CORP	株式	アメリカ	商業・専門サービス	1.9	34年
7	CONSOLIDATED EDISON INC	株式	アメリカ	公益事業	1.9	44年
8	KIMBERLY-CLARK CORP	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	1.9	46年
9	PROCTER & GAMBLE CO/THE	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	1.9	56年
10	COCA-COLA CO/THE	株式	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.9	56年

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

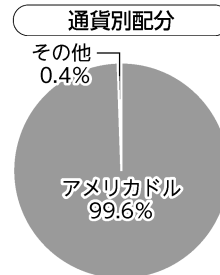
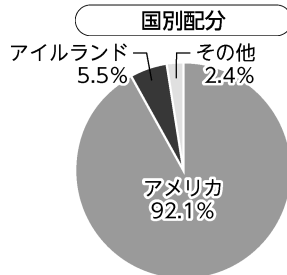
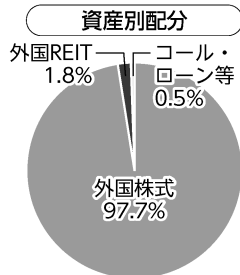
※REITを含めて表示しています。

※連続増配年数は、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックス提供資料(年次更新)に基づきます。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。



## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『S & P 500 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）』について

S & P 500 配当貴族指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが算出・公表しているS & P 500構成銘柄の中から25年間連続増配している企業を抽出し、算出している株価指数です。なお、S & P 500 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）は、S & P 500 配当貴族指数（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。S & P 500 配当貴族指数はS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJ」）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500 配当貴族指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド

J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信